

東京都北区自立支援協議会 令和4年度専門部会活動報告

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、Web開催や参加人数の縮小など、感染拡大の防止に留意しつつ活動を行ったため、例年に比べ活動回数が少なくなっている。

1. 相談支援部会

(1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	区内に所在する相談支援事業者 (北区障害者地域活動支援室 支援センターきらきら)	横手 美幸	部会長
2	知的障害者団体代表(社会福祉法人つみぎ)	中嶋 郷子	部会専門
3	区内に所在する相談支援事業者 (就労・生活支援センター飛鳥晴山苑)	田村 優果	
4	北区障害者基幹相談支援センター	阿佐 絵見子	部会専門
5	児童発達支援センター(係長)	長峯 慶和	部会専門
6	滝野川健康支援センター(係長)	岡田 幸子	部会専門
7	王子障害相談係(保健師)	富田 明子	
8	赤羽障害相談係(保健師)	篠塚 美木	
9	障害福祉係(係長)	瀬崎 雅史	
10	障害福祉係	末吉 直子	事務補助

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)(敬称略)

(2) 活動状況

開催経過	日時/場所	主な内容
第1回	令和4年11月2日(水) 十条台ふれあい館第二ホール	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の活動方針について 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための協議の場についての活動報告
第2回	令和5年1月26日(木) 十条台地域振興室会議室	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援体制の整備 相談支援の質の向上、人材育成について

(3) 検討事項

北区障害者計画2021 基本目標1「自分らしく生き生きと暮らすために」
施策目標1「相談支援の充実」
施策目標2「障害福祉サービス等の充実と質の向上」
施策目標3「保健・医療サービスの充実」
施策目標4「障害のある子どもへの支援の充実」

(4) 検討内容

① 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」構築推進のための協議の場について

北区では、令和3年度から保健、医療、福祉関係者による協議の場を通じて、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を進めている。取組内容や検討結果は、自立支援協議会 本会・相談支援部会へ報告や提案をすることとしており、令和3・4年度に実施した取組みについて、情報共有を行った。

② 相談支援体制について

現状の相談支援体制は5カ所（王子障害相談係、赤羽障害相談係、滝野川地域障害者相談支援センター、基幹相談支援センター、障害者地域活動支援室「支援センターきらきら」）。各部署の現状について、情報共有を行った。

③ 相談支援の質の向上について

相談支援の質を向上するために行っていることや、今後できると思われることについて、意見交換を行った。

2. 地域生活部会

(1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	区内に所在する相談支援事業者 (北区障害者基幹相談支援センター)	井上 良子	部会長
2	身体障害者団体代表(北区聴覚障害者協会)	大八木 剛	
3	身体障害者団体代表(北区肢体不自由児者父母の会)	中村 恵子	
4	精神障害者団体代表(NPO 法人わくわくかん)	古場 亜希	
5	知的障害者団体代表(一般社団法人ぶりっく)	下田 加代子	
6	地域住民代表(北区民生委員児童委員協議会)	石井 清貴	
7	地域住民代表	橋爪 英章	
8	共同生活援助事業所(社会福祉法人さざんかの会)	野口 正廣	部会専門
9	障害者福祉センター事業係(係長)	北岡 由紀	部会専門
10	王子障害相談係(身体障害者福祉司)	森澤 亜希子	
11	赤羽障害相談係(知的障害者福祉司)	藤平 匡央	
12	赤羽障害相談係(係長)	石澤 新平	

(令和4年4月1日~令和5年3月31日)(敬称略)

(2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和4年11月18日(金) 十条台ふれあい館第二ホール	・昨年度の振り返り ・緊急一時保護と施設入所支援の現状と課題

(3) 検討事項

北区障害者計画2021 基本目標2「住み慣れた地域で安心して暮らすために」 施策目標2「地域におけるサービス提供体制の整備」 施策目標3「安全・安心な暮らしの確保」 施策目標4「文化芸術・スポーツ・余暇活動の推進」
--

(4) 検討内容

- 緊急一時保護と施設入所支援の現状と課題について、情報共有・意見交換を行った。

3. 権利擁護部会

(1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	精神障害者団体代表 (NPO 法人北区精神障害者を守る家族会飛鳥会)	吉田 耕一	部会長
2	北区社会福祉協議会(権利擁護センター「あんしん北」)	飯野 加代子	副部会長
3	身体障害者団体代表(北区視覚障害者福祉協会)	遠藤 吉博	
4	地域住民代表(自立生活センター・北)	小田 政利	
5	知的障害者団体代表(北区手をつなぐ親愛の会)	丹野 克哉	部会専門
6	王子障害相談係(主査)	大月 美香	
7	王子障害相談係(知的障害者福祉司)	藤井 淳子	
8	赤羽障害相談係(身体障害者福祉司)	高橋 雅信	
9	王子障害相談係(係長)(障害者虐待防止センター所長)	干台 康志	庶務担当
10	障害福祉係	大野 紘生	事務補助

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)(敬称略)

(2) 活動状況

開催経過	日時/場所	主な内容
第1回	令和4年11月18日(金) 北とぴあ スカイホール	・障害者・高齢者虐待防止啓発講演会の参加

(3) 検討事項

北区障害者計画2021 基本目標3「ともに支え合う地域社会をめざして」 施策目標1「福祉のまちづくりの推進」 施策目標2「こころのバリアフリーの推進」

(4) 検討内容

- 「障害・介護サービス事業者のための虐待の早期発見と対応のポイント」をテーマとした障害者・高齢者虐待防止啓発講演会に参加した。

4. 就労支援部会

(1) 部会委員構成

No.	所属等	氏名	備考
1	教育・就労関係代表（就労支援センター北）	横山 雅之	部会長
2	教育・就労関係代表（就労支援センター北）	木村 和広	副部会長
3	地域住民代表	田中 佐季	
4	教育・就労関係代表（都立王子特別支援学校）	小野寺 肇	
5	教育・就労関係代表（王子公共職業安定所）	多田 修	
6	教育・就労関係代表（王子公共職業安定所）	國武 力	部会専門
7	就労継続支援B型事業所（社会福祉法人さざんかの会）	森 将知	部会専門
8	就労継続支援B型事業所（社会福祉法人あゆみ）	豊岡 学	部会専門
9	障害福祉係	曾根 千尋	庶務担当
10	障害福祉係	川名 麻裕美	事務補助

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）（敬称略）

(2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和4年10月4日（火） 【Web開催】	・令和4年度の活動方針について ・就労支援フェアについて
第2回	令和5年3月1日（水） 北区役所第一庁舎152会議室	・就労支援フェアの実績報告、反省等について ・北区障害者計画の進捗状況等について

(3) 検討事項

北区障害者計画2021 基本目標2「住み慣れた地域で安心して暮らすために」 施策目標1「障害のある人の就労の拡大」
--

(4) 検討内容

① 就労支援フェアについて

感染防止対策を徹底しながらできる取組みを検討し、実施した。

- 開催日時 令和4年11月18日（金）午後1時30分～4時30分
- 開催場所 北とぴあ カナリアホール・スカイホール

○ 実施内容

- ・ 講演会 「就労状況および生活状況について」

(講師)

住商ウェルサポート株式会社 吉田 吏貴 氏、栗原 麻梨絵 氏

株式会社快活フロンティア 大塚 将王 氏

特定非営利活動法人わくわくかん 木村 和弘 氏

- ・ 相談コーナー（ドリームヴィ、わくわくかん、ハローワーク王子）
- ・ 面接会（ハローワーク王子）

② 障害者計画の進捗状況等について

北区障害者計画 2021 及び北区における障害者優先調達推進法による調達実績について、情報共有を行った。また、令和5年度に行う北区障害福祉計画・北区障害児福祉計画の改定に向けた意見交換を行った。

5. 医療的ケア児・者支援部会

(1) 部会委員構成

No.	区分	所属等	氏名
1	学識経験者	武蔵野大学名誉教授	川村 匡由
2	保健医療代表	北区医師会	松田 健
3		北区訪問看護ステーション連絡協議会	平原 優美
4	障害福祉代表	都立北療育医療センター	田邊 靖志
5		社会福祉法人晴山会	松本 亜由美
6		社会福祉法人つみき	小池 敏之
7	教育代表	都立北特別支援学校	東 慎治
8	関係行政機関	健康推進課長	鈴木 正彦
9		健康推進課副参事（地域保健担当）	稲垣 智一
10		地域医療連携推進担当課長	藤野 ヌキ
11		障害者福祉センター所長	宮崎 修一
12		教育総合相談センター所長	佐藤 已喜人
13		保育課長	中田 雄平
14	事務局	障害福祉課長	田名邊 要策

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）（敬称略）

(2) 活動状況

開催経過	日時 / 場所	主な内容
第1回	令和5年1月11日（水） 北区役所第一庁舎 第二委員会室	<ul style="list-style-type: none"> 東京都医療的ケア児（者）実態調査について 東京都医療的ケア児支援センターの紹介 北区医療的ケア児・者実態把握調査について 学校・保育園での医療的ケア児受入状況等について

(3) 検討事項

<ol style="list-style-type: none"> 1 医療的ケア児・者支援のための関係機関相互の連絡調整及び情報共有 2 医療的ケア児・者支援のための地域の課題や対応策 3 その他医療的ケア児・者支援に必要な事項

(4) 検討内容

① 東京都医療的ケア児（者）実態調査について

令和3年度に東京都が実施した、都内の医療的ケア児（者）に関する実態調査の結果について、情報共有を行った。

○ 委員からの主な意見

- 都の調査結果にもある通り、医療的ケア児（者）を受け入れるための職員の確保が非常に困難である。
- 特別支援学校に通う医療的ケア児が、卒業後に利用できる施設が少ないのが課題である。
- いわゆる「歩ける医療的ケア児者」の方が障害福祉サービスにつながっておらず、相談先がないなどの課題も顕在化してきているので、支援をお願いしたい。

② 東京都医療的ケア児支援センターの紹介

令和4年9月に開設した東京都医療的ケア児支援センターについて、事業概要や相談受付状況、担当業務等について情報共有を行った。

③ 北区医療的ケア児・者実態把握調査について

区内における医療的ケア児・者の実態を把握するため、訪問看護ステーション連絡協議会を通じて、区内の各訪問看護ステーションに調査を行う。

○ 委員からの主な意見

- 他区の訪問看護ステーションを利用している方もいるので、対象が区内の事業所のみだと、医療的ケア児の実態と言えるのか疑問。
→平成29年6月に同様の調査を実施し、少なくとも北区には医療的ケア児が50人いると報告した。区外の訪問看護ステーションに登録されている方のニーズを拾えないという状況はご指摘のとおりだが、平成29年度当時との経年比較という観点から、今回はこの方法で調査を実施する。

④ 学校・保育園での医療的ケア児受入状況等について

令和4年度から区立学校、学童クラブ及び保育園において、民間委託により看護師を配置し、医療的ケアを実施している。

令和5年度からは、区立清水坂保育園において、区看護師を配置することにより医療的ケア児の受け入れを開始する。

○ 委員からの主な意見

- 保護者が学校や保育園から呼び出されるというケースも多いが、呼出の基準は検討しているか。
→容体によっては連絡することもないとは言えないが、安易に保護者の方に連絡をすることがないよう努めていきたい。区看護師による医療的ケアについては、比較的導入しやすい経管栄養や痰吸引といったサービスから手業を重ねて技術を磨き、医療的ケアの内容を広げていきたいと考えている。
- 東京都の研修や、特別支援学校のノウハウも活用できると思うので、連携しながら取り組んでいただきたい。

⑤ その他

○ 委員からの主な意見

- 就労系のサービスについて、オンラインによるサービスが今後可能になってくる。北区では実施していないが、必要性については認識しているので、事業所連絡会等で検討していきたい。
- 児童発達支援センターについて、児童福祉法の改正により、令和6年度からは類型が一元化される。まだ国からは詳しいガイドラインが示されていないが、児童発達支援センターの職員も医療的ケアについての理解を深めていく必要がある。
- 高齢化が進み、医療と福祉の両方のニーズを併せ持つ方たちが増大していく中で、専門職の連携が課題になってくる。医療的ケア児・者の支援については、実態を把握し、地域全体で支援を考えていく必要がある。